

令和 8 年上半期

火災と救急・救助の概要



三 木 市 消 防 本 部

令和8年上半期火災と救急・救助の概要

[目 次]

火 災 概 要

1	火災種別件数（対前年比）	1
2	火災概要（対前年比）	2
3	署別火災件数	3
4	地区別火災件数	3
5	月別火災件数	3
6	曜日別火災件数	4
7	時間別火災件数	4
8	覚知別火災件数	4
9	原因別火災件数	5
10	初期消火の状況	5
11	死者の状況	6
12	消防部隊出動状況	6
13	高速道路別出動状況	6

救 急 概 要

1	救急出場件数	7
2	事故種別救急活動状況	8
3	地区別救急出場件数	8
4	曜日別救急出場件数	9
5	月別救急出場件数	9
6	時間別救急出場件数	9
7	傷病程度別搬送人員	10
8	年齢別搬送人員	10
9	性別・科目別搬送人員	10
10	応急処置件数	11

救 助 概 要

1	救助出動状況	12
2	発生場所別出動件数	12
3	事故種別地区別出動状況	13

令和8年上半期の火災概要

令和8年上半期（1月～6月）の火災件数は38件で、前年と比べ2件増加し、過去5年間で最も多く発生しています。

火災種別では、建物火災が1件減少して8件（21.1%）、林野火災は1件増加して4件（10.5%）、車両火災は3件減少して2件（5.3%）、その他火災は5件増加して24件（63.2%）となっています。

建物焼損棟数は10棟で、全焼3棟、半焼2棟、部分焼1棟、ぼや4棟、り災世帯は4世帯、り災人員は8人です。

建物の焼損面積は457㎡で、前年の131㎡に比べ326㎡増加しています。

火災損害額は7,643千円で、前年14,457千円と比べ6,814千円減少しました。

※損害額については、調査中の1件を除く。

1 火災種別件数（対前年比）

発生年		令和8年	令和7年	比 較
出火件数		38	36	2
火 災 種 別	建 物	8	9	△ 1
	林 野	4	3	1
	車 両	2	5	△ 3
	船 舶	0	0	0
	その他	24	19	5

（△印は減少）

2 火災概要（対前年比）

前年同期と比べて出火件数が2件増加し、負傷者が1名減少、損害額は6,814千円減少しています。

区 分		単 位	令和8年	令和7年	比 較
出 火 件 数		件	38	36	2
建 物		〃	8	9	△ 1
	住 宅	〃	3	5	△ 2
	工 場	〃	2	2	0
	そ の 他	〃	3	2	1
林 野		〃	4	3	1
車 両		〃	2	5	△ 3
船 舶		〃	0	0	0
そ の 他		〃	24	19	5
損 害 額		千円	7,643	14,457	△ 6,814
建 物		〃	6,872	7,061	△ 189
	建 物	〃	5,357	5,272	85
	収 容 物	〃	1,515	1,789	△ 274
林 野		〃	0	0	0
車 両		〃	485	1,191	△ 706
船 舶		〃	0	0	0
そ の 他		〃	286	6,205	△ 5,919
爆 発		〃	0	0	0
建 物 焼 損 棟 数		棟	10	15	△ 5
	全 焼	〃	3	3	0
	半 焼	〃	2	2	0
	部 分 焼	〃	1	9	△ 8
	ぼ や	〃	4	1	3
爆 損	損害棟数	棟	0	0	0
	車両等数	台	0	0	0
焼 損	建物床面積	m ²	457	131	326
	建物表面積	〃	2	71	△ 69
	林 野	a	44	32	12
	車 両	台	3	7	△ 4
	船 舶	台	0	0	0
負 傷 者		人	3	4	△ 1
死 者		〃	2	2	0
り 災 世 帯		世帯	4	4	0
	全 損	〃	1	0	1
	半 損	〃	2	0	2
	小 損	〃	1	4	△ 3
り 災 人 員		人	8	11	△ 3
建物1件当たりの損害額		千円	859	785	74
〃 焼損床面積		m ²	57	15	42

※損害額については、調査中1件を除く

(△印は減少)

3 署別火災件数

前年同期比で、本署管内は4件増加、広野分署管内は4件減少、吉川分署管内は2件増加しています。

種 別		建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合計
署 別	年						
本 署	8年	4	2	1	0	11	18
	7年	3	0	2	0	9	14
広野分署	8年	1	0	0	0	4	5
	7年	4	0	2	0	3	9
吉川分署	8年	3	2	1	0	9	15
	7年	2	3	1	0	7	13
合 計	8年	8	4	2	0	24	38
	7年	9	3	5	0	19	36

4 地区別火災件数

吉川地区が8件で最多（前年同期比で2件減少）です。

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	合計
8年	5	2	6	4	4	6	0	3	0	8	38
7年	5	1	2	2	6	1	4	5	0	10	36

5 月別火災件数

4月が14件と最も多く発生しています。

月	1	2	3	4	5	6	合計
8年	5	11	1	14	6	1	38
7年	6	7	4	12	2	5	36

6 曜日別火災件数

日曜日と月曜日が9件と最も多く発生しています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
8年	9	9	8	5	1	4	2	0	38
7年	5	2	0	7	8	8	6	0	36

7 時間別火災件数

15時台が7件と最も多く発生しています。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
8年	0	1	0	0	1	0	1	2	2	2	1	3
7年	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	2	5

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	合計
5	3	0	7	4	2	2	2	0	0	0	0	0	38
4	4	2	6	2	0	1	2	2	2	0	0	0	36

8 覚知別火災件数

携帯電話の通報が24件と最も多くなっています。

種別	119 (固定)	119 (携帯)	加入 電話	警察 電話	駆け つけ	事後 聞知	その他	合計
8年	6	24	2	0	0	5	1	38
7年	6	23	2	0	0	3	2	36

9 原因別火災件数

たき火が22件で、前年同様、出火原因の第1位です。

原因別	8年	7年	原因別	8年	7年
たばこ	1	3	配線器具	2	1
こんろ	1	1	火あそび	0	1
かまど	0	0	マッチ・ライター	1	2
風呂かまど	0	0	たき火	22	14
炉	0	0	溶接機・切断機	0	0
焼却炉	0	0	灯火	0	0
ストーブ	0	1	衝突の火花	0	0
こたつ	0	0	取灰	0	0
ボイラー	0	0	火入れ	0	0
煙突・煙道	0	0	放火	2	3
排気管	0	1	放火の疑い	1	0
電気機器・装置	2	1	その他	6	5
電灯・電話配線	0	1	不明	0	1
内燃機関	0	0	調査中	0	1
			合計	38	36

たき火欄内訳	8年	7年
たき火	12	5
虫焼火	10	9
合計	22	14

10 初期消火の状況

住民等による初期消火が行われたのは、38件中27件です。

区分	初期消火の状況							初期消火なし	合計
	消防用設備	消火器	水道・浴槽・汲み置きの水	寝具・衣類等をかけた	もみ消した	その他	小計		
8年	0	4	16	0	1	6	27	11	38
7年	0	7	6	0	2	7	22	14	36

11 死者の状況

2月の車両火災で1名、4月のその他火災で1名、合計2名の死者が発生しています。

12 消防部隊出動状況

種 別 \ 署 別	本 署	広野分署	吉川分署	合 計
部 隊	63	32	53	148
偵 察	24	10	27	61
警 戒	39	20	23	82
応 援	0	2	1	3
風 水 害	0	0	2	2

(救助出動は除く)

※「偵察」 偵察・煙火・自動火災報知設備・誤報・捜索・異臭の調査等
「警戒」 救急支援・油処理・ガス漏洩・その他（へり誘導）の活動等
「応援」 近隣応援(市外、管轄高速道等)・緊急消防援助隊の出動等

13 高速道路別出動状況

道 別 \ 種 別	火 災	救 急	救 助	偵 察	警 戒	応 援	風水害	合 計
中 国 道	0	2	0	0	1	0	0	3
舞鶴若狭道	0	0	0	0	0	0	0	0
山 陽 道	0	23	2	0	5	2	0	32
合 計	0	25	2	0	6	2	0	35

令和 8 年上半期の救急概要

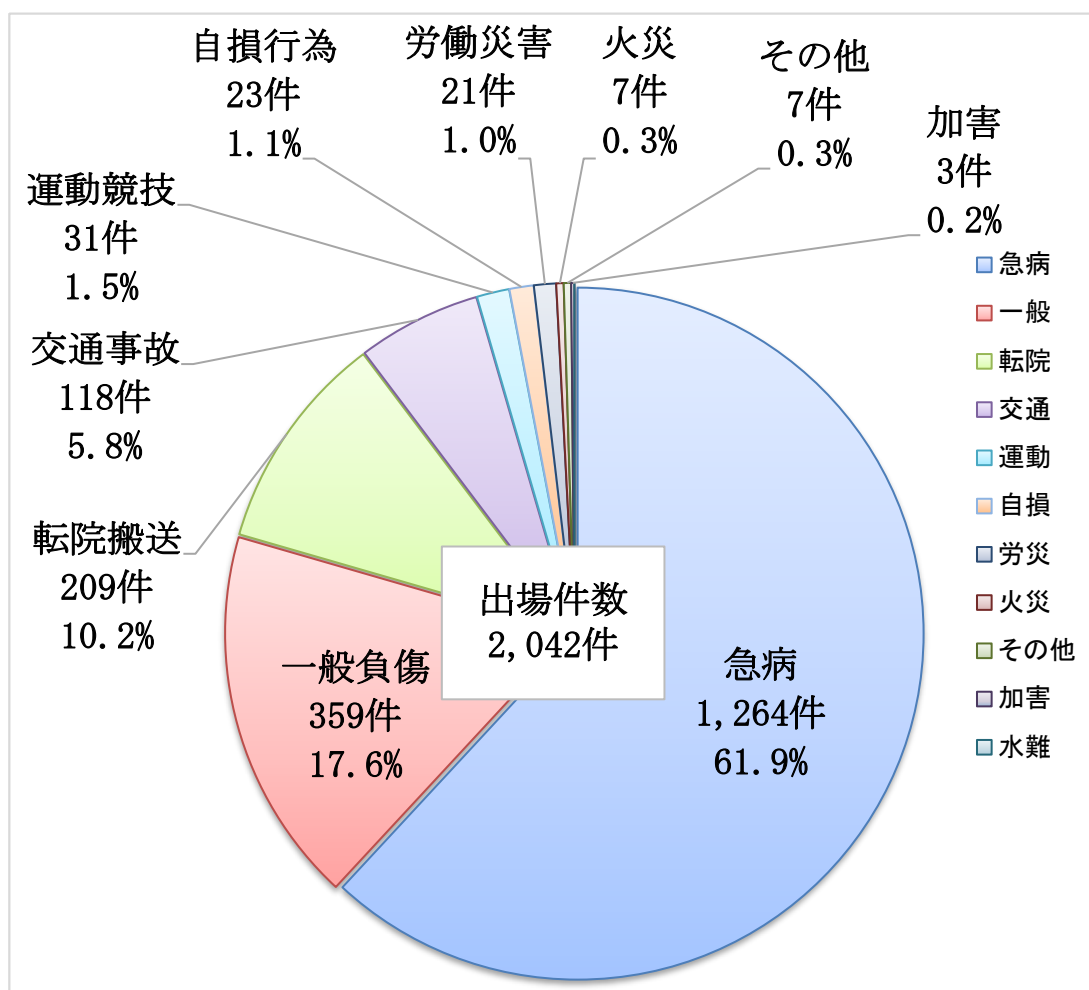
令和 8 年上半期（1 月～6 月）の救急出場件数は 2, 0 4 2 件で、前年の 2, 2 5 1 件に比べ 2 0 9 件減少しています。

搬送人員は 1, 8 6 6 人で、昨年の 2, 0 5 2 人に比べ 1 8 6 人の減少となっています。

事故種別出場件数は、急病が 1, 2 6 4 件（6 1. 9 %）で最も多く、一般負傷 3 5 9 件（1 7. 6 %）、転院搬送 2 0 9 件（1 0. 2 %）、交通事故 1 1 8 件（5. 8 %）の順となっています。

事故種別による件数を昨年と比較すると、転院搬送 3 6 件、自損行為 1 6 件、加害 2 件の増加、急病 1 8 6 件、一般負傷 3 1 件、交通事故 1 8 件、労働災害 1 2 件、運動競技 8 件、その他 5 件、火災 3 件の減少となっています。

1 救急出場件数



2 事故種別救急活動状況

		救急出場件数			搬 送 人 員			
		8年	7年	比較	8年	7年	比較	
事故種別	火 災		7	10	△ 3	1	4	△ 3
	自然災害		0	0	0	0	0	0
	水 難		0	0	0	0	0	0
	交通事故		118	136	△ 18	114	140	△ 26
	労働災害		21	33	△ 12	20	32	△ 12
	運動競技		31	39	△ 8	29	37	△ 8
	一般負傷		359	390	△ 31	332	357	△ 25
	加 害		3	1	2	3	1	2
	自損行為		23	7	16	18	2	16
	急 病		1,264	1,450	△ 186	1,142	1,307	△ 165
	その他	転 院 搬 送	209	173	36	207	172	35
		医 師 搬 送	0	0	0	0	0	0
		資 器 材 輸 送	0	0	0	0	0	0
		そ の 他	7	12	△ 5	0	0	0
	合 計		2,042	2,251	△ 209	1,866	2,052	△ 186
不 搬 送		186	217	△ 31				
管外搬送					1,280	1,465	△ 185	

※管外搬送人員には、北播磨総合医療センターを含みます。(△印は減少)

3 地区別救急出場件数

地 区	三 木	三木南	別 所	志 染	細 川	口吉川
8年	562	223	189	161	58	42
7年	680	224	216	177	75	42

緑が丘	自由が丘	青 山	吉 川	その他	合 計
222	292	88	178	27	2,042
216	282	109	213	17	2,251

4 曜日別救急出場件数

月曜日が最も多く、最も少ないのは水曜日となっています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	合 計
8年	289	328	279	261	300	286	299	2,042
7年	354	351	300	282	321	334	309	2,251

5 月別救急出場件数

1月が最も多く、最も少ないのは6月です。

1ヶ月平均340件、1日平均では11.3件出場しています。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合 計
8年	390	334	323	327	348	320	2,042
7年	480	370	355	376	335	335	2,251

6 時間別救急出場件数

10時台の159件が最も多く、次に9時台の158件で、最も少ないのは4時台の29件で、次に0時2時5時台の30件です。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
8年	30	35	30	37	29	30	57	78	128	158	159	139
7年	45	33	37	35	38	41	50	78	121	137	178	139

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合 計
152	126	93	119	104	90	112	94	73	67	63	39	2,042
153	130	139	141	120	137	92	101	89	80	73	64	2,251

7 傷病程度別搬送人員

傷病程度別では、軽症が52.9%を占めています。

単位：人

程度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
8年	26	34	819	987	0	1,866
7年	36	46	896	1,074	0	2,052

8 年齢別搬送人員

高齢者（65歳以上）が最も多く、搬送人員の69.9%を占めています。

単位：人

年齢	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
	(生後28日未満)	(28日～6歳)	(7歳～17歳)	(18歳～64歳)	(65歳以上)	
8年	2	56	78	425	1,305	1,866
7年	1	70	69	499	1,413	2,052

9 性別・科目別搬送人員

昨年に比べると男性が116人、女性が70人の減少となっています。科目別では、内科995人、整形外科335人、脳神経外科305人の順となっています。

単位：人

科目	外 科		整形外科		脳神経外科		内 科		小児科		精神神経科	
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
8年	66	28	153	182	169	136	532	463	37	35	1	3
7年	73	35	160	186	216	150	585	520	45	20	1	5

産婦人科	眼 科		耳鼻咽喉科		泌尿器科		その他		合 計	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
7	3	3	5	8	22	9	4	0	992	874
9	2	3	4	5	21	10	1	1	1,108	944

10 応急処置件数

全搬送人員 1,866 人に対して、傷病者観察と応急処置が施されています。

	急 病	交通事故	一般負傷	左記以外	合 計
応急処置対象人員(人)	1,142	114	332	278	1,866
止 血	6	10	37	7	60
固 定	3	43	32	12	90
人 工 呼 吸	1	0	0	0	1
胸 骨 圧 迫	0	0	0	0	0
心 肺 蘇 生	32	0	1	3	36
酸 素 吸 入	261	11	20	73	365
気 道 確 保	58	1	2	6	67
経口・経鼻エアウェイ	1	0	0	0	1
喉 頭 鏡・鉗子	0	0	0	0	0
※ラリngeアルマスク 等	10	0	0	0	10
※気 管 挿 管	5	0	1	0	6
以外	42	1	1	6	50
保 温	30	6	6	4	46
被 覆	6	28	64	10	108
在 宅 療 法 継 続	17	0	3	0	20
冷 却	15	0	3	0	18
除 細 動	4	0	0	0	4
血 圧 測 定	1,095	114	324	274	1,807
心音・呼吸音聴取	361	43	36	56	496
血中酸素飽和度測定	1,113	114	331	275	1,833
心 電 図 測 定	928	46	139	192	1,305
※静 脈 路 確 保	25	0	2	1	28
心肺機能停止前	4	0	1	0	5
心肺機能停止後	21	0	1	1	23
※アドレナリン 投 与	7	0	1	0	8
※血 糖 測 定	6	0	0	1	7
※ブドウ糖 投 与	2	0	0	0	2
そ の 他	1,119	114	332	275	1,840
合 計	5,089	530	1,333	1,189	8,141

(※印は、救急救命士の特定行為等)

令和８年上半期の救助概要

令和８年上半期（１月～６月）における救助出動件数は３２件で、前年と比べ３０件減少しています。

１ 救助出動状況

事故種別 区分		火 災	交 通	水 難	風 水 害	機 械 等	建 物 等	ガ ス 等	破 裂	そ の 他	合 計
出動件数（件）	８年	6	6	0	0	0	17	1	0	2	32
	７年	8	16	1	0	1	31	0	0	5	62
活動件数（件）	８年	6	3	0	0	0	13	1	0	1	24
	７年	8	8	1	0	0	16	0	0	3	36
救助人員（人）	８年	1	3	0	0	0	6	1	0	1	12
	７年	1	12	1	0	0	8	0	0	3	25
出動台数（台）	８年	35	22	0	0	0	42	4	0	4	107
	７年	15	60	3	0	4	78	0	0	13	173
出動人員（人）	８年	100	66	0	0	0	118	9	0	13	306
	７年	40	168	8	0	9	216	0	0	38	479

２ 発生場所別出動件数

事故種別 発生場所		火 災	交 通	水 難	風 水 害	機 械 等	建 物 等	ガ ス 等	破 裂	そ の 他	合 計
屋 内	住 居	3	0	0	0	0	17	0	0	0	20
	その他の屋内	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
屋 外	高 速 道 路	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	その他の道路	1	4	0	0	0	0	0	0	0	5
	その他の屋外	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	内 水 面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外 水 面	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	山 岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		6	6	0	0	0	17	1	0	2	32

3 事故種別地区別出動状況

事故種別では、建物等による事故が 17 件で全体の 53.1% を占めています。

地区別では、三木地区、別所地区、自由が丘地区が 7 件と最も多くなっています。

事故種別 地区別		火 災	交 通	水 難	風 水 害	機 械 等	建 物 等	ガ ス 等	破 裂	そ の 他	合 計
三	木	1	0	0	0	0	6	0	0	0	7
三	木 南	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
別	所	1	3	0	0	0	2	0	0	1	7
志	染	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
細	川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口	吉 川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緑	が 丘	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
自 由 が	丘	1	0	0	0	0	6	0	0	0	7
青	山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉	川	2	2	0	0	0	1	0	0	0	5
高 速 道 路		0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
管	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合	計	6	6	0	0	0	17	1	0	2	32